



# AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会事務局 鎌倉市大船 1709-18 FAX 0467-44-5876

## 横浜スペイン協会創立 25周年記念号 vol.1

横浜スペイン協会 創立 25周年記念公演

サルスエラ

### ロンダに咲いた桜

LOS CEREZOS de RONDA

脚本・構成・演出 音楽監修  
桜田ゆみ 青島広志

Program

瀧 廉太郎…花  
青島広志…風にいろをぬりたいな/生命の歌/ありがとう  
ビゼー…オペラ「カルメン」より抜粋  
ラ・バロマ/コンドルは飛んで行く/ラ・クカラーチャ/ビバ・セビージャ  
幸せなら手をたたこう/ロンドンデリーの歌/オー・シャンゼリゼ  
フニクリ・フニクラ/おおブレネリ ほか

Cast

メゾ・ソプラノ：和田朝妃  
テノール：小野つとむ  
ギターと歌：安田隼人  
山口宏一  
語り：桜田ゆみ  
ピアノ：青島広志  
さくら合唱団  
SAKURA 舞踊団

2015年4月12日(日)  
13:30 開演 (13:00 開場)

MUSICASA ムジカーザ  
(小田急線 代々木上原駅東口より徒歩2分)

¥3,500 全席自由  
ワイン/タパス/スペイン菓子付き

主催：横浜スペイン協会  
後援：スペイン大使館 Embajada de España / セルバンテス文化センター東京  
日本・カタルーニャ友好親善協会  
協力：スペイン家庭料理 Mi mesa

お問い合わせ：横浜スペイン協会 mail info@yokohama-spain.jp  
桜田 tel.& fax 042-306-0723 mail yumi1201enchanted@yahoo.co.jp

# 横浜スペイン協会創立25周年を迎えて

1990年7月7日に横浜スペイン協会の前身である「横浜スペイン交流協会」の設立総会が、横浜産貿ホール内横浜国際会議場ラウンジにて行われました。横浜市においては、港南区民が中心となり既に1984年のセビリア市への友好親善訪問等、様々な交流がおこなわれてきました。この間にロンダ市在住の名誉アンダルシア人春田美樹画伯との親密な交友関係も生まれ、又日本とスペインとの友好親善関係に実績を持つ「日本マドリード会」やスペイン大使をはじめスペイン関係者のご理解とご支援により当協会の設立が実現しました。当時は1992年のバルセロナ・オリンピックやセビリア万国博覧会の開催、コロンブスのアメリカ大陸発見500年祭の年であり、EC市場統合を迎える年としてスペインに対する関心が高まっている時でした。『スペインに日本の桜を植樹し交流の絆を太く強くしよう』との長年の想いを具体化するスタートでした。

初代の下山貞明会長の言葉の通り“国際交流は、急いでその成果を求めるものでなく、会員相互の楽しい触れ合いの中から生まれる息の長い文化活動である”の精神を引き継ぎ、同時に新たな時代感覚に沿った緩やかな活動の変遷を果たしながら、創立25周年のこの年を充実した一年として未来へつなげて行きたいと考えております。

横浜スペイン協会 会長 山崎宗城

## 横浜スペイン協会創立25周年に寄せて

先日は、創立25周年記念のサルスエラ公演「ロンダに咲いた桜」にご招待いただき、誠にありがとうございました。ユーモア溢れる、素晴らしい演技の数々を、観客も一緒になった和気藹々とした雰囲気の中で、大変楽しく拝見させていただきました。また「ロンダに桜を咲かせたい」という先人の強い思いが、貴協会の原点だということを知り、感銘を覚えました。



貴協会では、今年もスペインに桜を植樹する企画があると伺いました。スペインに桜の名所がたくさんできるよう、どんどん植樹していただき、そして桜と同じ頃に咲くアーモンドの花とともに、日西友好のシンボルとして、未永くスペインの人々に愛されるようになることを願っています。

スペインは、地方色豊かな多彩な魅力に満ちた国です。会員の皆様が、貴協会の活動を通じ、市民レベルの交流を深めるとともに、スペインの魅力を満喫されますよう、お祈り申し上げます。

前スペイン駐箚特命全権大使  
佐藤 悟

## 横浜スペイン協会創立25周年記念講演

～ サルスエラ「ロンダに咲いた桜」を観て

貴協会創立25周年おめでとうございます。そして、サルスエラ「ロンダに咲いた桜」のご公演の大成功に心よりお慶び申し上げます。桜田ゆみさんのすばらしい



構成と進行、また一流の方々をキャスティングされた内容に心打たれました。それにもまして、貴協会の会員の方々一人ひとりがサルスエラに参加され、歌に踊りに、嬉々として演じられている姿は本当に感動しました。内容も、貴協会の設立の趣旨や、歴史がよく理解でき、素晴らしいものでした。今後のますますのご発展をお祈りいたします。

私ども、日本・カタルーニャ友好親善協会も創立から30年が経過しました。「日本にサン・ジョルディの日の普及を」を目的に設立されましたが、これからも日本とカタルーニャ、またスペインとの架け橋として、活動してまいりたいと思っています。

日本・カタルーニャ友好親善協会  
事務局長 大濱 秀夫

## ❀ サルスエラ「ロンダに咲いた桜」に寄せて ❀

### 出演者・ボランティアの皆さまからコメントを頂きました

今回、初めて貴会の会員である桜田ゆみさんからお声をかけていただき、サルスエラ劇に参加させていただいたことに御礼を申し上げます。

私共、音楽家にとりましてスペイン音楽は遠くにあるもので、一生関与しないものだと思っていました。唯一の例外はオペラ「カルメン」ですが、これは作者がフランス人で、異国に対する憧れが強く感じられます。隣国であっても異国なのですから、日本に住む者にとって、遙かな国であることは間違いありません。今回も、私自身のレパートリーから選んでいただいたので、まだ完璧にスペイン音楽と関わった訳ではありませんが、いずれその日が来るものと信じています。また、スペイン風のメイクは、実年齢を隠すものだと今更乍らに実感しました…とは言えそれは女性の場合だけで、男性の場合はどうなるのかが、目下の興味でございます。また協演の機会をいただきましたら幸いに存じます。



Gakken Pub.

作曲家 青島広志

### ❀ 中村瑛子（参考文献） ～ サルスエラの上演を終えて

スペインに日本の桜を植樹し、平和友好のシンボルとしてスペインの人達と交流しようという趣旨に惚れて、25年間携わって来た協会の歴史がドラマ化されてサルスエラとして上演されました。こんなことになるなんて、故春田さんも故下山会長も天国で目をぱちくりしていらっしやることでしょう。なんて素敵なことが起こったのでしょうか。みんなみんな、島根の遠く銀山から、東北から駆けつけた人達もこんな楽しいことはなかったと興奮の渦に巻き込まれました。そして全体に溢れるエネルギーに圧倒されたと・・・。

どうして人々の心にこの話が響いたのでしょうか。

今世界の情勢は非常な不安と危険に取り囲まれています。軍事費を巨大に増やし、金をバックに他国の海や領土に侵入して脅威、不安、不快感を与え続けている人々の関係と、桜を植樹して平和

友好のシンボルとして人々の心をつなごうという人々との関係は両極端にあります。春田さんも下山前会長も戦争の時代を経験しました。私は太平洋戦争が終った時は4歳でしたが、大陸にいた一家は突然不可侵条約を犯して侵入してきたロシアに追われて悲惨な逃避行を余儀なくされ、私の幼い妹二人を失いました。この経験はその後の人生にずっと影響し、平和の交流とはどういうことなのかを考えさせられました。

桜を通して平和への夢を実現しようとした春田さんと下山前会長、そしてそれを全力で支えて歴史を創って来た仲間は何て素敵な人達なのでしょう。この目的を持った仲間のエネルギーがサルスエラを観た人達に伝わったのだと思います。

桜田ゆみさんの天才的才能には驚かされましたが、その才能あってこの協会が単なるスペイン好きが集まった趣味の会ではなく、素晴らしい目的を持った自主独立の稀有の存在であることをPRできたことが、最大のサルスエラ上演の収穫であったと考えます。

これを契機にして、新しい時代の平和への交流を新しい世代で切り開いて行って欲しいと心の底から思った次第です。

❁桜田ゆみ（脚本・構成・演出）／語り、講談、桜の精役

25周年の為に書き下ろした作品！歌と芝居と舞踊と料理の「協演・饗宴・嬌艶」で、本場のサルスエラ同様に大団円となりました♪深いご縁で繋がった協会誕生秘話と、その熱い想いを共に伝えてくださった出演者・スタッフ、そしてお客様に大感謝です！

❁小野つとむ（テノール）／春田美樹、ドン・ホセ役

創立25周年おめでとうございます。協会創立の物語、春田さんの人生を演じさせて頂き、大変に感動いたしました。ありがとうございます。皆様の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

❁和田朝妃（メゾ・ソプラノ）／レメディオ、カルメン役

今回、ご縁がありまして、多くの方々と舞台を作り上げる一員となれて、とても嬉しく思います。これからもそんなご縁を、そして出合いを大切に、大切に、歌い続けて参ります。ロンダの桜、いつか見に行ってみたいです！！

❁安田隼人（シンガー・ソング・ライター）／コメディアン、佐藤総理、エスカミーリョ役、他

いつもの公演終了後なら、「台詞や歌詞を間違えなくて良かったな。」という思いが最初に浮かびます。しかし今回は、「春田さんの思いが届いたでしょうか？」という思いです。皆様に何かが届いていれば、やっと安心できます。届きましたか？

❁山口宏一様（シンガー・ソング・ライター）／コメディアン、総理秘書、東郷青児役、他

横浜スペイン協会創立25周年のサルスエラに出演させて頂き、大変光栄に思っております。私は8役を務め、その七変化を楽しんで頂きました。春田さんのロマン溢れる生涯に心打たれ、更に、夢を叶えたいと強く思います！

❁柴本裕子（フラメンコ・ダンサー）

皆さまの熱い思い、台本を読ませていただいた時の感激が、舞台に向けての練習の原動力となりました。記念となる公演に参加できました幸せに、感謝いたしております。

❁山崎宗城（さくら合唱団）

ステージ上での演技は小学校の学芸会以来初めてのことでした。決まったセリフを正しく言うことの難しさを実感しました。会員の一人として創立25周年の記念のサルスエラ劇に出演できたことは個人としても良い記念となりました。

❁石井加奈弘（さくら合唱団）

小学校の学芸会以来の舞台上のセリフと歌唱は想像に余りあるプレッシャーでした。私は3回も話す場面があり、相手が話終わるとすぐ言わなけりゃと焦って頭の中は真っ白となり本当に疲れと悔いが残った「ロンダに咲いた桜」ならぬ「とんだ桜」でした。

❁臼井慎一（さくら合唱団）

半世紀ぶりステージ(?)で不安いっぱいでしたが、桜田さんはじめスタッフ・キャストの皆様と温かい眼差しで見守って頂いたお客様のおかげで、楽しむことができ、終生の思い出になりました。¡Muchísimas gracias!

❁武菱邦夫（さくら合唱団）

初めての舞台出演、出番を待つ緊張！出番へのカウントダウン！なんでおいらがトップで出るの！不安と後悔とひらきなおり！その時扉があいた、大声出して舞台に突進！あとは流れにまかせた。終わってみて思う！ありがとう！

❁下山利明（さくら合唱団）

まさかのさくら合唱団への編入、そしてセリフ有り。期待と不安が同居。数回にわたる特訓、そして強い連帯感。カーテンコールでの熱気と盛り上がり。この情熱、パワーはどこから来るのだろうか？25周年を飾るに相応しい公演。あらためて父の偉大さを認識。関係者の皆様に感謝！ありがとう！！

❁千葉博子（さくら合唱団）

25周年記念公演を無事終える事が出来ました。今年に入ってから理事会終了後桜田さん指導のもと皆で慣れないセリフと歌の練習をしました。セリフがこんなにも大変という経験もしました。御協力下さった皆様に感謝致します。ありがとう御座いました。

❁真木幸子（さくら合唱団・お料理ボランティア）

昨年8月桜田理事からの提案で始まった「ロンダに咲いた桜」記念公演。それからの8ヶ月全理事が心を一つに準備を進め、裏方だけでなく合唱団として舞台にまで上がる事が出来ました。自分達も心から楽しみお客様にも喜んで頂け、本当に素晴らしい経験でした。

❁福長昭代（さくら合唱団・SAKURA舞踊団）

協会25周年記念の公演に舞踊団、合唱団の一員として青島広志先生はじめプロの方々と舞台をご一緒させて頂き、感激から未だ醒めず。グアッパ、ボニータのハレオにいい気分で演じることが出来ました。皆様もお楽しみ頂けたでしょうか！

❁古賀恵子（さくら合唱団・お料理ボランティア）

幼稚園以来の舞台出演！！歌は上手に歌えず、たった一言のセリフは、声が上ずりドキドキものでした。お客様のお一人が「みなさん楽しそうで、それが良かった」とおっしゃってくれたのが何より嬉しく、終わってみればホントに楽しかった！の一言です。

❁栗山由美子（さくら合唱団）

当日お客様の熱い視線を前に、これまでの皆の不安は一気に吹き飛び、ファイトの塊に！ファイナーレでは達成感で一杯！Gracias桜田さん！又、故下山会長、故春田さんによる協会設立時の思いを皆様に紹介できて良かった！

❁釜秀雄（さくら合唱団）

合唱団員の一人として参加し、横浜スペイン協会の成り立ちを知り、大変有益でした。春田さんが旅された国の歌を、うまく取り込まれていたのには脱帽です。スペインのサルスエラ「パロマの歌」なども歌いたかったです！

❁石川恵（さくら合唱団・SAKURA舞踊団）

協会の皆様に温かく接していただき、お稽古から本番まで幸せな時間でした。ありがとうございました。フニクリ・フニクラの場面の楽しい一体感が、私のお気に入りです。絆を結ぶ素敵な作品に出会えて感謝です。

❁金澤礼子（さくら合唱団・SAKURA舞踊団）

陽気で暖かい横浜スペイン協会のみなさまとの出会いに心から感謝しております。ロンダに咲いた桜のように、平和で力強い思いが広がっていきますように……。

❁金沢美樹子（SAKURA舞踊団）

25周年記念のサルスエラに参加の機会をいただき御礼申し上げます。加藤万紀子先生に全員同じではないセビジャーナスを振付けて頂きました。お祭り気分が伝わりましたでしょうか？協会の皆様の御尽力に感動致しました。又皆様の笑顔が素敵でした。

❁赤堀綾子(お料理ボランティア)

今回料理ボランティアをやらせて頂きました。前日調理を済ませ、当日盛り付けたのですが、会場で予定通りの作業スペースが確保できず仕上げられるかははらはらしました。皆様から素晴らしく美味しかったとお褒めを頂きとても嬉しく思いました。

❁渡邊昭夫（写真撮影）

満席の会場、楽しさ一杯の練られた脚本。巧みなプロと新鮮な会員の熱演。会場一体となった最後の盛り上がりが会員の熱意と実力の証。協会25周年に相応しいイベントでした。ご苦労様でした。これを好機として更なる協会の新しい発展を！

❁下山恵里（舞台監督）

今回、陰ながら参加させていただきましたが、春田さん、そして祖父の思いが皆様に伝わったならば幸いです。横浜スペイン協会のますますのご発展を願っています。

#### ❁小野瑠奈アンヘラ（音響・照明・写真撮影）

舞台のご成功おめでとうございます。人と人が力を合わせ、笑顔の連鎖をつくりだすことは、平和な世界への第一歩なのだと思います。これからもロンダの桜が美しく咲くように、世界中が温かな笑顔でいっぱいになりますように。

#### ❁下山芽里（ボランティアスタッフ）

スペイン協会創立 25 周年おめでとうございます！今回はじめてサルスエラを観させていただきました。桜田さんのユーモア溢れるオリジナル脚本が、親しみやすい内容でとても楽しめました。料理などの準備で当日は慌ただしくなりましたが、皆様に楽しんで頂けたようで嬉しく思います。またこのような機会がありましたら参加させて頂きたいです。

#### ❁廣瀬勝亮（ボランティアスタッフ）

不順な天気が続いた 4 月 12 日は天候にも恵まれ、横浜スペイン協会創立 25 周年を祝うサルスエラの催しを受付でのお手伝いを致しました。場所は代々木上原駅近くの音楽会などで使う小さなホールでしたが、沢山のお客様がいらして下さり、大盛況でした。今までにない会員の桜田ゆみさんが、企画・演出・出演と大活躍の自主公演で、一般の会員の沢山の方が参加され、協会設立にかかわった「男のロマン」をテーマにしたほろりとした歌あり、踊りありの音楽劇でした。この仲間にはタレントに恵まれた多くの人達がいるのには驚きでした。

### ❁会員からの投稿

#### 「横浜スペイン協会と桜」

長い間、欧州での仕事に携わっていたが、訪れた先で桜に似た花をよく見かけた。そのうち、桜のように見えたのはアーモンドや桜桃の花であることも知ったが、その後も、特に日本を長く離れていた時期には、見る度に日本や日本の桜への想いをつのらせたりもした。

入会させていただいてから、協会の発足が「桜」に纏わることをお聞きしたが、その詳しい経緯は知らぬままにいた。今回、創立 25 周年記念公演の演目はその経緯を描いた「ロンダに咲いた桜」であることを知り、また友人の下山氏がその公演に参加すべく、合唱団で猛特訓されているとの話を小耳にはさみ、これは何をさておいても、期待しつつ代々木上原の会場に駆けつけた。「あっ！ TV でよくお見かけする青島先生もいらっしゃるぞ」などと思っているうちに劇中に引き込まれ、あっという間の 2 時間半。プロの方々の熱演と、合唱団・舞踏団の方々の溢れる闘志そしてそれを支えるボランティアの方々の情熱で、下山初代会長と春田美樹氏を巡る「桜」の物語が、楽しく感動的に綴られていた。この素晴らしい舞台を作ってくださったのが、「桜田」さんというのもまた「桜」との何かの縁だろうか。

日本の桜が咲くロンダの闘牛場近くの公園には、「死ぬるがために生を受け、生きるがために死す」と書かれた春田氏のモニュメントがあり、そこには下山初代会長のお名前も刻まれているという。お二人の「桜」への想いが日本の桜をスペインに咲かせ、横浜スペイン協会の発足へとつながった。人の想いが形になることは、素晴らしい。この公演も、またそのひとつである。そう思った。（中村隆器）

「ロンダに咲いた桜」公演後レセプションパーティーでお料理ボランティアの皆さんが提供しましたタパスのレシピをご紹介します。

ご家庭で手軽に作れるスペイン風おつまみです。ぜひお試しください！

### たこのガリシア風 ～ ガリシア地方のたこ祭りのお料理 別名「お祭りたこ」

<材料 (2人分) >

ゆでだこの足 (刺身用) 1本 ジャガイモ 小2個  
A(オリーブオイル・粗塩・パプリカパウダー・カイエンペッパー) 各適宜

<作り方>

- ① ジャガイモは皮ごと茹で、1cm厚さに切る。
- ② たこは食べやすい大きさに切り①の上に乗せ、Aをかける。(パプリカパウダーはたっぷり、カイエンペッパーは少々)

### 生ハムとアプリコットのカナッペ ～ おもてなしに大活躍のタパス！

<材料 (8個分) >

サンドイッチ用食パン 3~4枚 生ハム 2枚  
アプリコット (缶詰) 8切れ A(マヨネーズ・粒マスタード) 各適量

<作り方>

- ① 食パンは直径4.5cmのセルクル (又はお椀の底など) で抜き、Aを塗る。
- ② 生ハムは4つに切り、アプリコットは缶汁をきってペーパータオルでふく。生ハムでアプリコットを巻き、①の上に置き、楊枝を刺す。

### 赤パプリカのカナッペ ～ パプリカの鮮やかな赤で彩りばっちり！

<材料 (4人前) >

赤パプリカ 1個 バケット (1センチ厚さ) 8枚  
オリーブオイル・塩・イタリアンパセリ 各少々

<作り方>

- ① 赤パプリカは230℃のオーブンで30分焼く。皮をむいてへたと種を除き手で細かく裂く。塩とオリーブオイルで味付ける。
- ② バケットの上に①の赤パプリカをのせ、上にイタリアンパセリを飾る。

### ツナのコロッケ ～ スペインバル風にちょっと摘んで赤ワインと共に！

<材料>

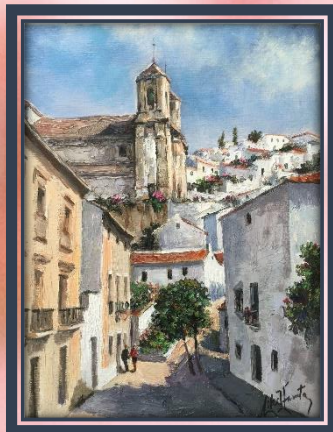
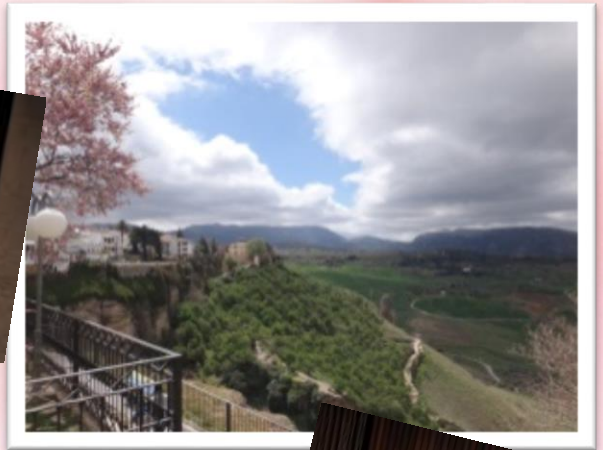
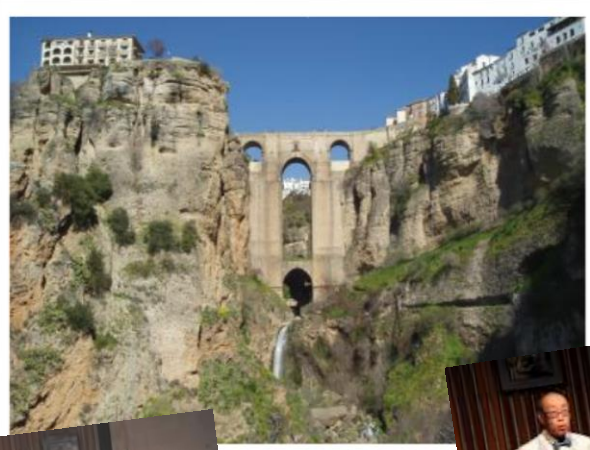
ホワイトソース：バター 50g / 小麦粉 大匙6 / 牛乳 2カップ  
具：ツナ缶…水気(油)を切る 1缶 / ゆで卵 1個 / オリーブ 12粒 各粗みじん切り  
ブラックペッパー・ナツメグ 少々  
衣：卵2個 / パン粉(細) 1/2袋 / 揚げ油 適量

<作り方>

- ① 上記の材料でホワイトソースを作る。
- ② ①に具を混ぜ塩・こしょうで味を調節し、バットに移す。ラップをかけ冷蔵庫で1時間ほど冷やす。
- ③ 親指大の大きさに丸め、パン粉、とき卵、パン粉の順にまぶす。180℃の油で揚げる。



# ロンダに咲いた桜



## 「駐日スペイン大使 ゴンサロ・デ・ベニート氏歓迎会」における大使挨拶

(非公式訳) 2015. 5. 29

横浜スペイン協会 会長 山崎宗城様、ならびに横浜スペイン協会会員の皆様

はじめに、横浜スペイン協会の皆様の暖かい歓迎、そして日頃からスペイン文化とスペインに関するあらゆる分野に対してご興味をお持ち頂、そのご活躍にお礼申し上げます。

さきほど、琴を弾いて鼓を叩いてのスペイン国家の素晴らしい演奏も、両国の親近感を増すことに努めている皆様のご活躍の証であると思います。

また、今朝参加させていただきました、1954年任期中都内で死去し、横浜の外人墓地に眠る、故フランシスコ・デ・カスティージョ駐日スペイン大使のお墓参りという感動的な行事に対してもお礼申し上げます。このように今でもカスティージョ大使のことを思い出していただいていることを大使館より心から感謝致します。

1990年創立以来、今年で25周年を迎える横浜スペイン協会は、スペインの言語と文化、スペイン料理、そして日本とスペインをつなぐさまざまな分野においてすばらしい普及活動を行って参りました。私が大使に着任してから4ヶ月経ったばかりですが、この期間中、横浜スペイン協会の活動内容を近くで拝見しております。その内容は実に広範囲で興味深く、会員の方々数名は日本を訪れるスペイン人観光客を対象にスペイン語のガイド通訳サービスを提供するまで及んでおり、とても好評だと知りました。

横浜スペイン協会の皆様は、複数回スペインを訪れ、我国に常にご感心を持っていただき、中にはロンダ市、セビリヤ市、コリア・デル・リオ市を訪れ、各市の公園に桜の植樹を行ったと把握しております。日本の文化と自然の象徴でありますこれらの桜がスペインで花を咲かせたことは、我国の環境に日本文化がしっかりと根付いたことを表していると思います。また、横浜スペイン協会が以前に東京のスペイン大使館公邸に植樹して下さいました桜も毎年花を咲かせております。大切に育てております。

感謝の気持ちを繰り返すとともに、スペイン大使館は引き続き今後も皆様のご活動を支援し続けることを約束致します。来る9月開催予定の写真・絵画・クラフトの展示会は特に楽しみにしております。

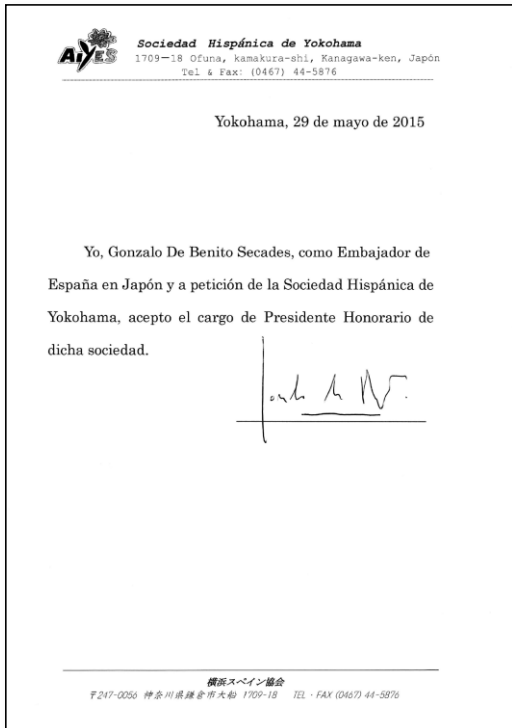
横浜スペイン協会は、日本国内に存在する他のスペイン協会と同様、日本とスペインのすばらしい関係を更に向上させるための貴重な存在であります。二カ国の交流を深めるために皆様が行っております絶賛活動を今後も継続して下さいることを期待しております。

ゴンサロ・デ・ベニート スペイン大使

## 駐日スペイン大使ベニート大使を横浜にお迎えして

本年1月15日に、ミゲル・アンヘル・ナバロ大使閣下の後任として、駐日スペイン大使に着任されたゴンサロ・デ・ベニート・セカデス大使閣下を横浜にお迎えして、5月29日、恒例の横浜外人墓地への墓参と歓迎会を開催致しました。当日は12時に横浜山手の外人墓地正門前にて25名の

の会員でベニート大使閣下をお迎えし、今年61回忌を迎える、故フランシスコ・ホセ・デル・カスティージョ大使の墓参を行い、大使閣下よりスペインの国旗をあしらった花輪の献花につづき、参加者全員でご冥福をお祈り致しました。大使閣下は墓標の前での写真撮影を強く希望され、半世紀以上経過しても遠く離れた日本で墓参が行われていると言う事実を、祖国スペインにいるカスティージョ大使の子孫の方々にお伝えしたいとの事でした。墓参が終わり、大使閣下と共に歩いて数分の港の見える丘公園内に隣接する、ポートヒル横浜ホテルへ場所を移し、歓迎レセプションが始まりました。石井事務局長の司会進行にて、山崎会長のスペイン語での挨拶に続き、今回は会員でお琴の奏者の児玉寛子さんと鼓(つづみ)奏者の今井尋也さんによる、スペイン国歌の演奏があり、その後ベニート大使閣下にスピーチと乾杯の音頭を取って頂きました。歓談の時間はお琴と鼓の優雅な演奏が続く中、横浜港のパノラマが一望に見渡せる会場にて、ベニート大使閣下もリラックスされた様子で、各テーブルをまわられ一人一人とお話をされ、写真撮影にも気軽に応じて頂き、協会会員との懇親を深められました。そして、今回の重要なセレモニーである、横浜スペイン協会の名誉会長受諾文書に、ベニート大使の署名を頂きました。



名誉会長受諾文書の署名



最後のご挨拶には、横浜スペイン協会に対して、25年にもわたるスペインの文化交流、普及活動に謝意を述べられ、我々の活動に、今後も全面的なサポートを提供したいという心強いお言葉を頂きました。参加した会員一同、スペインとの距離が更に縮まったと感じると同時に気が引き締まる思いを抱きつつ、限られた時間の中、ベニート大使閣下のお人柄にも魅了され、共に密度の濃い時間を共有することが出来ました。(下山利明)



## 2015年度定時総会議事録

日時： 2015年5月9日（土）PM13:00～15:00  
場所： かながわ県民活動センター15階 1501号室  
出席人数： 16名  
議長： 山崎宗城会長  
議案： 総会に先立ち、同日PM12:00分より開催の理事会において「2015年度定時総会議案書」が承認された

### 【議案】

1. 第1号議案 2014年度事業報告について
2. 第2号議案 (1) 2014年度会計決算報告について  
(2) 監査報告
3. 第3号議案 2015年度事業計画（案）について
4. 第4号議案 2015年度会計収支予算（案）について
5. 第5号議案 その他

### 【議事】

1. 事務局長の司会で開会し、先ず山崎会長より挨拶があった
2. 協会規約10条(2)に則り会長が議長の座につき、第1号議案が石井事務局長より、第2号議案(1)についても石井事務局長より説明があり、この後、角井監事より第2号議案(2)の監査報告があった
3. 第3号議案は各担当理事より、第4号議案が下山理事より各々説明があり、全議案について採決の結果、全会一致で可決された

なお、第5号議案として山崎宗城議長より臼井慎一、武菱邦夫、古賀恵子、以上3委員が理事会に於いて今年度より理事に選ばれた旨報告があった

総会にご出席の方にはこの議案書はすでにお渡ししていますのでお送りしていません。ご入用の方は下記事務局までご連絡ください



事務局長 石井加奈弘  
横須賀市芦名 1-9-9  
電話：046-857-1864  
E-mail:141.k.yokos@jcom.home.ne.jp

### \*\*\*\* 事務局からのお知らせ \*\*\*\*

AIYES 通信新年号でお知らせしましたように、本年は横浜スペイン協会創立25周年になりますので、いろいろなイベントを企画し、その第一弾として4月12日（日）にサルスエラ「ロンダに咲いた桜」の公演を行い、成功裏に終了いたしました。また、5月9日（土）には2015年度定時総会を無事に終了することができました。6月発行のAIYES 通信74号に年会費振込票を同封いたします。

今年度より振込手数料は協会でお支払いいたします。どうかお早めに年会費3,000円をお支払いいただきますよう皆様のご理解とご協力よろしく願います。

2015年1月以降入会され振込済の方は、2015年度分の徴収はございません。

## ●旅でスペインを識ろう会

2015.2.9@神奈川県民サポートセンター

2月9日(月)は“私の「見た」キューバ、「聴いた」キューバ”というタイトルで、栗山由美子先生のお話がありました。私達はキューバというと、ゲバラ、ラム酒、サルサとか、それにちなんだ観光が思い浮かびます。しかし栗山先生は、キューバの歴史と庶民の暮らしという視点でお話されました。最初に「シボネー」の曲が流れました。この曲はコロンブスがアメリカに到着した頃、キューバに住んでいてその後絶滅したインディオ種族、シボネー族を歌った曲、シボネー族の娘によせる恋の歌の解説から始まりました。前半は先生が作って下さった年表に沿って、歴史を歯切れよく、明るく大らかに語って下さいました。後半はスライド、音楽も交え、ご友人の歌手のお宅を訪ねたお話、現地の料理や生活状況、外国人のホテル、タクシー等の旅行環境のお話がありました。時間が短かった為、もっと伺いたい事が沢山あった様に思われます。

さて、去年アメリカは1961年以来外交関係が断絶しているキューバと国交正常化に向け交渉を始めたと発表しました。この先色々変わり、目の離せないキューバ。大変貴重な旅のお話を有難うございました。(佐藤順子)

## ●スペイン語クラス

この度協会創立25周年を迎えるにあたりスペイン語クラスを長年に渡りご指導頂いております栗山由美子先生からメッセージを頂きましたのでご紹介致します。

### AIYES スペイン語教室の設立と、故下山貞明前会長と私との関わり

今から30年程前、大学のイスパニア語学科の先輩から「スペイン語を教えない？」と誘いがありました。それまで主婦業に勤しみ、子育てに追われてきましたが、元々スペインとスペイン語が大好きな私です。「よし、やってみよう！」と意を決しました。それが横浜市港南区ひまわり親善国際交流協会主催のスペイン語教室でした。この団体こそ故下山会長が港南区長時代(1980年～84年)に設立されたものです。半年は区の主催、その後自主運営となり1993年までそこで教え、後を友人に託し偶然に口のかかった某女子短大のスペイン語講師となりました。

時を1990年まで戻します。新聞で偶然『横浜スペイン協会設立』の記事を見つけ、会長下山貞明、元港南区長とあり、これも何かのご縁と思い早速入会しました。協会には桜植樹という大きなテーマがあり、スペインへ行った折、会員の誰もが現地の方々と直接会話ができるなら、何と素晴らしいことだろうと私は思い、1991年秋に『スペイン語で、スペインの人たちと交流を深めよう』との趣旨で、教室開設の企画書を協会に提出しました。これが認められ協会設立2年目の1992年4月にセレス(桜)クラスが開始されたのです。当初の生徒数はおよそ20名。バルセロナ・オリンピック、セビリア万博の年で、世の中はスペインブームで溢れていました。

私はこれまでに、この『セレスクラス』(1992年～2007年)と、『新聞・雑誌を読むクラス』(1997年～現在)の2クラスを担当してきました。その間に様々なクラスが作られ、生徒数も飛躍的に増えました。その成功の秘訣は何か、と尋ねられたら、それは協会の全面的な支援、クラス運営をリードされた中村瑛子さん、廣瀬勝亮さん、福長昭代さん、優秀な講師陣、クラス委員の惜しみない助力、熱心に学ぶ生徒の皆様、といった全員が一丸となり運営してゆくボランティア・パワーによるもの、と答えたいと思います。

スペイン語を何のために学ぶのか？それは突き詰めれば、人生を楽しむため！

これからも AIYES スペイン語教室が発展して、益々皆様の身近な存在となってゆくことを、心から願っています。(栗山由美子)

## ●シネマ・サロン



「Narco Cultura」 - 「皆殺しのバラッド・メキシコ麻薬戦争の光と闇」

2013年、監督 Shaul Schwarz、ドキュメンタリー映画、アメリカ・メキシコ

舞台はアメリカのエル・パソと川を挟んで向かい合う Ciudad Juárez。強大な力を持つ麻薬密輸組織と当局との衝突、組織間の抗争など、一般市民を巻き込んで多くの命が奪われているという。事件の捜査に当たる警察官は、現場で証拠を集めてもその大部分はそのまま放置されるが、町を守りたいという固い意志で、移住を勧める家族の反対を押し切って仕事に励む。一方、決して公衆の面前に現れない組織の大物たちにあこがれる若者たちが、その武勇伝を「ナルコ・コリード」という歌にして人気を集めている。メキシコ国内では放送やCD発売が禁止されているが、アメリカではそれはなく、各地、特にロサンゼルスでは流行っていてCDも爆発的に売り上げを伸ばしている。その歌手の一人も登場し、「次のヒップホップだ！」と勢いづく。103分の大半は暴力に満ちた狂気の世界であり、ほんの一部に市民生活が描かれている(家族の食事風景など)。

ここにはメキシコから密輸された麻薬のほとんどすべてがアメリカ国内で消費されるという事実があるという。解決の道はあるのだろうか？(松本益代)

この夏には2つのアルゼンチン映画が見られます。

「約束の地」 監督・Lisandro Alonso

「Wild Tales」 製作総指揮 Pedro Almodóval

## ●スペイン便り

スペインの中でもアンダルシアの人びとは特にお祭り好き。毎週何かしらの祭りがあるのではないかと思います。私はスペイン人の友人たちと各村に伝わる伝統的な祭りを見学して代々受け継がれてきた美味しい食事とワインをご馳走になるという大変興味深い経験をしています。

5月第1週目の日曜日、グラナダは十字架祭りで大賑わいでした。自慢の中庭(パティオ)や道に近所の人びとが一致団結して、それぞれ趣向を凝らした十字架を作って飾るのです。普段は入れない一般のお宅の中庭にも、この日ばかりは誰でもお邪魔できるのです。

十字架祭りはコンクール制で今年的一位とか特別賞など貰うことは大変名誉らしい。因みに毎年を受賞有力候補のグループは皆昔から有名な、強豪揃い。気合が漲っています。祭りの前夜から地元の新報で前評判が出て、それを見ながら皆でまず盛り上がります。評価を検分して「どういうマイルートを作って十字架巡りを楽しもうか」とプランを立てます。合間合間にお気に入りのバルで一杯やるのも勘定に入れて友人家族皆で着飾って街に繰り出すのです！

数え切れないくらいの大量の赤いカーネーションで作られた十字架はまるで真紅のビロードのような美しさです。その周りをすごいとしか言いようの無いデコレーションをしていくのですが、こ

れは一見にしかず。スペインのショール、古い鍋や花瓶、洗濯板からソーセージマシーンまで飾っちゃうとは。神様のおかげで日々恙無く暮らせることを感謝してということだそうです。昔の人びとはこういう共同行事を通して、助け合いの精神や宗教心を育てていったのですね。（西澤安澄）



## 「私たちのスペイン展」 展示作品を募集

横浜スペイン協会では創立 25 周年を記念して「私たちのスペイン展」を下記要領にて開催します。ついでには会員の皆様から展示する作品を募集させていただきます。絵画や写真・クラフト・刺繍・折り紙などでスペインに関連した作品なら何でも結構です。

また、会期中の会場受付ボランティアも募集します。

皆様のご参加お待ちしております。詳しくは同封の作品募集・ボランティア募集のチラシをご参照下さい。

会場・・・県民センター展示場

- 開催期間・・・9/28(月)～ 10/2(金)
- 開会式典・・・9/28 スペイン大使館文化参事官によるテープカットとレセプションを予定
- 主な展示予定内容
  - ・応募作品      ・協会の歩み      ・活動紹介（クラス紹介    クラブサークル紹介など）
  - ・観光コーナー（大使館    セルバンテス等）
  - ・イベントコーナー（折り紙講座    旅の会等）



## 【日西交流 ORIGAMI】サークルを開始して

創立 25 記念行事にスペイン北部に桜植樹をするという話が持ち込まれた際、ただ植樹に行くだけではなく何か地元の人達と横浜スペイン協会が文化交流をするいい機会だと思いました。日本文化を紹介するのに歌、舞踊、楽器、料理、展示、いろいろありますが準備が大変ですし、技術も要ります。私はかつて職場で国際交流プログラムに関係していた際、国際的折り紙作家で日本の折り紙を記号化して初めて国際化した吉澤章氏に国際交流のために先生に習いたいと厚かましくお手紙を出したことがあります。なんと丁寧なご返事が来て折り紙は国際交流に日本が誇る最適な文化だとありました。それ以来確信をもって在日、訪日外国人に、海外出張の際に折り紙で交流してきました。シンプルな紙を折るというだけで魔法がかけられる文化にみな驚きの声を上げます。持ち運びがこんなに簡単で素敵なものはありません。今までこういう世界に触れたこともない男性陣から感動の聲が上げるのも教室の魅力です。セビリア、ロンダでの桜植樹の際の折り紙教室もとても和気あいあい賑やかだったのを懐かしく思い出します。(ボランティア講師：中村瑛子)

### ●新コーナー **i Esto Esto Esto !**

横浜スペイン協会の会員や賛助会員のお奨めを紹介するコーナーです。スペインに関連する料理、食材、お酒、スポット、イベント、ちょっといい話などをとりあげていきます。

#### 〜〜 聖フランシスコ・ザビエルとワイン 〜

今回は賛助会員、日西商事さんの取り扱う「セニョリオ・デ・サリア社」のワインの歴史と聖フランシスコ・ザビエルとの繋がりです。

現在のセニョリオ・デ・サリア社は、サリア・ソテス・エコジョン・アゴスの4家が所有する各醸造所が1951年に合併して作られたメーカーですが、その歴史をたどっていくとナバーラ地方出身の聖フランシスコ・ザビエルの兄（アスピルクエタ将軍）が旧所有者のひとりであるソテス家の一員であったことが分かっています。1535年この地をザビエルの友人が彼の手紙を持って訪れました。当時ザビエルはソルボンヌ大学で学んでいましたが、「生活が苦しくなったので送金して欲しい」といった内容でした。この手紙から兄のアスピルクエタ将軍がザビエルの生活費をワインで得たお金で援助していたことが分かっています。この手紙は現在サリア社内の礼拝堂に大切に保管されています。そしてこの手紙を持ってきた友人こそイエズス会の創設者、聖イグナシオ・デ・ロヨラでした。その後ザビエルはイエズス会に入りキリスト教の宣教師として1549年に日本の地を踏むことになったのです。関社長によるとロゼがお勧めだそうです。ザビエルの留学を支えたワイン試してみませんか。



<ロゼとザビエルの手紙のコピー>



## 《Un poco de información》

日西商事さんはスペインなどの酒類食材の卸販売の他、お台場にてスペインバル「ボデガ・デ・サリア」を営業されています。ワインを隣のショップから選んで持ち込めるバルで、タパスも本格的なものが用意されています。お台場へはY-CATより直通のバスが運行されているので、思いのほか行き易いそうです。会員向けのサービスもあります。こちらもお試してください。(臼井慎一)

店名 『スペインバル ボデガ・デ・サリア』  
東京都港区台場2丁目2番地1  
THE TOWERS DAIBA アネックスモール1F

## \*\*\*\*\* 新会員紹介 \*\*\*\*\*

### 平原美千恵 (Michie Hirahara)

東京都港区在住 2015年3月入会

Hola! 東京都港区在住の平原と申します。世界の中でスペイン語を話す人の割合の多さに驚き、これからはスペイン語だ!!!と突然思い立ち、週1回、スペイン語教室に通い始め早くも3年が過ぎます。・・・が、なかなか上達するのは難しく、最近少々やる気がダウンしてきました。その様な折り、知人の紹介でこちらの協会を知り、様々な事に興味を持つきっかけになればと、入会を決めました。スペインには、ツアーで1度しか行った事がなく、浅い知識しかありませんが、テニス・F1・motoGPのスペイン人選手の大ファンです!協会の皆さまから刺激を頂戴し、幅を拡げ、そしていつか何か少しでもお役に立つことが出来たら、と思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

### 松村 清 (Kiyoshi Matsumura)

鶴見区在住 2015年3月入会

1978年から5年半、仕事で中米パナマに赴任しました。オフィス内では英語が多かったですが、生活上ではどうしてもスペイン語が必要です。正式にスペイン語を習ったことはありませんが何とかコミュニケーションがとれる位までは喋れるようになりました。中南米ではトラブルに会うことは珍しくありませんが、それも何とか乗り越えることができ、今となっては懐かしい思い出です。30年間のブランクはありますが、もう一度スペイン語をやり直してラテン文化をもっと学びたいと思って入会しました。今後ともよろしくお願ひします。

### 金澤礼子 (Reiko Kanazawa)

南区在住 2015年4月入会

横浜で一番好きな場所、スパニッシュ建築の洋館『ベーリック ホール (山手)』に通っていたところ、偶然桜田理事のオペラに出会い感動。次回も鑑賞したいと思い『横浜スペイン協会』という単語の記憶を頼りに検索すると奇しくも協会25周年記念公演の案内が。チケットを購入するつもりが…ボランティアのご縁をいただきお料理をお手伝いするつもりが…さくら合唱団とSAKURA舞踊団のお話をいただき、心と頭と身体に大汗をかきながらも公演を終え、現在に至ります。スペインに関しては何の知識もありませんが、一歩一歩学んでまいりますので、何卒よろしくお願ひ致します。

## 佐藤愛子 (Aiko Sato)

東京都品川区在住 2015年4月入会

この度、下山さんからご紹介していただき、この素敵な横浜スペイン協会に入会させていただくことになりました、佐藤愛子と申します。スペインとは特にご縁は無いのですが、スペインの芸術や音楽、お料理など大好きです。特にアートは、学生時代に魅せられ、シュールレアリズムと Dali の相反する関係など卒論に纏めた思い出があります。「リベルタ デ リベルタ」これは我が家に飾ってあるミロの版画のタイトルなのですが、自由の中の自由、この力強いスペインの魂が、私自身に通じるものがあると勝手に思っています(笑)。これからもスペイン協会の活動に参加させていただけることを、楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い致します。

## 大戸正彦 (Masahiko Odo)

川崎市在住 2015年4月入会

下山さんのご紹介で入会させていただきます。

スペインには以前から興味があり、これまで2回訪れたことがあります。また25才の時1年間、スペイン語の語学教室に通ったことがあります(ほとんど忘れてしまいましたが)。入会させていただいたら、スペインの歴史や文化を学んだり、スペイン料理を楽しんだりしたいと思います。現在静岡市の民放テレビ局に単身赴任で勤務しており、自宅のある日吉には毎週末帰ってくるような生活をしています。できるだけ会の催事等には参加したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## <<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	東京都品川区上大崎2-16-3	03-5420-5328	サングリア1杯無料
アトリエ フレア Atlier Flair	鎌倉市大船2-17-8 中島ビル3F	0467-42-8531	押し花体験費用割引
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 サ・クルズ・ダ・パアネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

<編集後記> 本号は協会創立25周年にあたり、創立25周年記念号 vol.1 として、記念公演「ロンダに咲いた桜」に関する記事を通し、協会の設立経緯とその歴史を皆さまに理解、再認識、共有していただく為に多くの紙面を割きました。いかがでしたか?最近協会の活動も益々活性化し、その結果賛同者も増えて、新たに5名の方が入会されたことは本当に嬉しいです。(下山利明)

編集委員 石井加奈弘 白井慎一 古賀恵子 桜田ゆみ 下山利明 武菱邦夫 千葉博子 福長昭代 真木幸子 山崎宗城

\*投稿寄稿宛先 〒247-0056 鎌倉市大船 1709-18  
横浜スペイン協会 URL <http://www.yokohama-spain.jp>

次回の原稿締切は  
**10月15日(木)**です。  
投稿は800字以内、写真をお付け下さい